

令和5年4月1日

令和5年度 大田区立志茂田小学校 学校経営計画

大田区立志茂田小学校長
中村 一裕

1. 学校経営の基本理念

63年の歴史と伝統に育まれた志茂田小学校の校風・教育文化・精神を継承するとともに、大田区教育委員会「おおた教育ビジョン」を踏まえ、子どもたちに予測困難な社会の変化に創造力と柔軟性をもって主体的に対応できる知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むための特色ある教育活動を推進します。地域・保護者と連携・協働して共に歩み、社会に開かれた学校づくりを通して、地域・保護者から信頼され、子ども、保護者、地域、教職員が愛校心と誇りをもつことができる学校を目指します。

教育は、未来の創り手となる人づくりの営みです。志茂田小学校全教職員は、その英知と創造力を結集し、情熱をもって全力で教育活動に取り組んでいきます。

2. 教育目標

人権・生命尊重と社会貢献の精神に基づき、心身共に健康で豊かな知性と感性に富み、郷土を愛し、自ら社会貢献に寄与しようとする人間性豊かな児童を育成する。

◎よく考え、工夫する子 ○いつもねばり強く、がんばる子 ○こころ豊かに、助け合う子

3. 学校経営の基本方針

目指す学校像

○安心、安全で楽しく学べる「子どもが主役」の学校

○教職員が情熱と使命感にあふれ、互いに高め合い協働する学校

○地域、保護者から信頼され、地域の教育拠点として地域、保護者と協働して子どもたちを育む学校

◎今年度のスローガンは、「挑戦なくして成長なし～No growth without challenge～」

挑戦は人生を豊かにする。なぜなら成功からは自信を、失敗からは知恵が得られるからである。

結果を求めるのではなく、目標に向かって本気の努力を！

(1) 安心、安全で楽しく学べる「子どもが主役」の学校

子どもたち一人一人の学びと安心安全な生活を保証し、確かな成長へと導くために、学習環境(物的・人的)の質の向上を図ります。「明日の登校を楽しみにする子ども」あふれる教育を推進します。

○「明日の登校を楽しみにする子ども」あふれる学校教育を推進します。

・教職員一丸でいじめ0、差別0、不登校0、重大事故0の実現を目指します。

・一人一人が能力や個性を發揮し、「わかる、できる、がんばれる」を目指した教育活動の実現を目指します。

・「共生」を合言葉に、学校大好き、先生大好き、友達大好き、自分大好きな子どもを育成します。

○生きて働く知識・技能を習得させ、未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性を育む教育を推進します。

- ・子どもの学習状況を的確に把握し、学習内容を確実に習得・定着させる指導内容や指導方法の工夫・改善に取り組みます。
- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善に取り組みます。
- ・「共に学び成長する」風土を醸成し、教師と子どもが合意形成を図り、子どもが学びの主体者となる学びの実現を目指します。
- ・マイスタート、マイロード、マイゴールを大切にした指導を推進します。
- ・地域環境・資源を活用した体験的な学習の充実を図ります。
- ・「おたの未来づくり科」の新設に向け、学校や地域の特色を生かしたカリキュラムマネジメントを行い、実践研究校として実践研究を行います。

○豊かな心と社会性を育む教育を推進します。

- ・ルール・マナーとリレーション（親和的關係性）の確立と支持的風土の醸成に努め、子どもたちの満足度の高い集団を形成していきます。
- ・「やればできる」と自分を信じられる、成長的マインドセット（グロースマインドセット）が優位に働く子どもを育成します。
- ・省察(振り返り)により自他のよさや成長を実感し認め合う学習活動の充実を図ります
- ・共感的な理解に努め、一人一人の子どもに寄り添う指導を行います。
- ・一人一人の子どもの心の悩み・不安を把握し、その解消に努めます。
- ・自発的なあいさつ、場に応じた言動、集団行動ができるよう、全教育活動で指導を行います。
- ・基本的な生活習慣の確立と規範意識を育てます。
- ・すべての教職員が同じ目線で全校の子どもを育てます。
- ・自他の命と人格を尊重する思いやりのある児童を育てます。（人権感覚の涵養）
- ・登校後すぐに15分間の朝遊びを行い、心のスイッチをオンの状態にした上で、一日の学校生活を始めます。

○健康の保持増進及び体力の向上を図る教育を推進します。

- ・年間を通して体を動かす心地よさを十分に味わわせ、スポーツを通して仲間と豊かにかかわる経験をさせて、進んで運動に取り組む意欲を育てます。
- ・子どもたちの運動環境の充実を図ります。（全校体育朝会・持久走月間）
- ・登校後すぐに15分間の朝遊びを行い、心と体のスイッチをオンの状態にした上で、一日の学校生活を始めます。
- ・家庭と連携して子どもたちの体力向上を図ります。
- ・感染症対策をはじめとして、健康で安全に暮らせる環境を整備します。

(2) 教職員が情熱と使命感にあふれ、互いに高め合い協働する学校

教師の成長なくして子どもの成長なし。人としての魅力に溢れ、生きる楽しさを体現するよき先人としての努力を惜しまない意識を醸成し、教師の人間力、指導力を育成します。

○教職員が互いに連携・協働し、「チーム志茂田」で組織的な教育活動を展開します。

- ・教職員は、校長を筆頭に、プロフェッショナルとしての自覚と責任をもち、高い専門性と創造力及び柔軟性、豊かなコミュニケーション力や社会人としての品格を身に付ける努力を継続します。
- ・子どもへの教育的価値を最優先する意識を涵養します。
- ・教職員一人一人が自らの個性や能力、経験等を最大限に生かし、互いに高め合い、支え合いながら、自己肯定感をもてるやりがいと働きがいのある職場環境を作ります。
- ・学校全体が組織の中の学級・学年であるという意識のもと、他学年との協働など協力体制を確立して指導体制を整えます。
- ・校長、副校長、主幹、主任のラインを明確にし、報告、連絡、相談、記録を確実にを行い円滑な学校運営に努めます。
- ・ことばの教室があり、サポートルーム拠点校であることを生かし、教職員同士が学び合い、子どもたちの自己肯定感の育成、集団生活への適応を図るとともに、学級運営の安定化を図ります。
- ・「学校における働き方改革推進プラン」の趣旨に基づいたワーク・ライフ・バランスを推奨し、すべての教職員が心身ともに健康で生き生きと働く職場を目指します。通年水曜日を午前授業とし、他の曜日には会議・打ち合わせを行わず、教職員の効率的な業務遂行を支援します。

○校内研究や研修会、日常のOJTの充実を図り、個々の教員の授業力を向上させます。

- ・生きて働く知力、たくましく生きる体力、共生の精神と高い人権意識を備えた徳力をバランスよく育てる質の高い授業や取組を追究する教師集団を育成します。
- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究に努め、子どもの学習意欲を高めます。ねらいを明確にし、児童が見通しをもって学ぶことができる児童の側に立った「分かる授業」「楽しい授業」づくりを目指し、授業を常に工夫・改善していきます。
- ・互いの授業を見合い、日常的に質の高い授業を目指して切磋琢磨し、高め合う風土を醸成します。
- ・各種研修の実施により、授業改善の視点や教育者としての資質や能力を磨きます。

(3) 地域、保護者から信頼され、教育拠点として地域、保護者と協働して子どもたちを育む学校

子どもたちの笑顔や生き生きと学ぶ姿、そして、健やかに成長した姿は、地域・保護者共通の学校教育への最大の期待である。その期待に応えるべく、日々の教育活動に邁進し、協働して子どもを育てる関係づくりに尽力する。互いがWin-Winの関係になり、本当の意味での協働の実現を目指し、教育における地域の教育の拠点として機能する学校づくりに取り組む。

○学校、家庭、地域が相互に連携・協働し、地域・保護者の方々と共に歩む学校づくりを推進します。

(よい町はよい学校をつくり、よい学校はよい町をつくる。地域は教室、地域は先生、地域は教材。)

- ・志茂田小学校と関わりのある地域・保護者の方々の参加・協力による授業・体験活動・学校行事に

より、学校の教育活動に大きな活力を生み出すようにします。

- ・家庭との連携を密にするとともに、学習相談や家庭学習支援など家庭教育への支援を充実させます。
- ・地域施設訪問、ボランティア活動、志茂田中学校、近隣保育園との交流、高齢者など、地域の教育資源や人材などの教育力を生かした教育活動を積極的に展開します。
- ・学校支援地域本部スクールサポートしもだとの連携を図った取り組みの充実を図ります。
- ・災害時拠点としての機能をより一層拡充していきます。

○教育活動を積極的に発信し、地域、保護者から信頼され、子どもたちを共に育てる学校を目指します。

- ・学校行事や授業の公開のほか、学校の経営方針や日々の教育活動等についての情報を学校ホームページ等を活用し積極的に発信し、学校の教育に対する理解を深めていただきます。今年度も子どもたちの生活や学習の様子を学校ホームページの「校長室より」のページで毎日紹介していきます。
- ・まなびポケットのクラスルーム機能を活用して、各種便りや連絡事項などを速やかにお届けいたします。
- ・学校の計画、実践、評価、改善を明確に説明し、学校評価を実施し、教育課程の編成に生かします。

○小中施設一体型校舎の特長を生かし、小中連携の充実を図り、学びの連続性の保証を目指し、児童生徒交流、教職員交流をより一層推進する。

- ・大田区教育研究推進校として、小中一貫教育のロールモデルを確立する。
- ・児童会、生徒会による合同あいさつ運動
- ・部活交流会
- ・中学生ボランティアによる夏期補習指導
- ・駅伝大会に向けた合同練習
- ・教員の指導法研究会の実施

4. 教育目標及び基本方針の具現化のための方針

一人一人の学ぶ意欲と学力の向上【知】

- ・主体的な学びを促す教師と子どもの合意形成 ・ノーチャイムによる自律と自立の啓発
- ・大田区学習効果測定分析に基づく授業改善プランの作成 ・言語能力の育成
- ・課題の自己決定力、省察力の育成（学びの主体者を育成する）
- ・読書活動の充実 ・算数科の習熟別指導の充実
- ・自分の気持ちや考えを自分の言葉で表現できる子どもの育成（スピーチ力の向上）
- ・理科教育 ・ものづくり教育 ・プログラミング教育 ・外国語教育の推進 ・補習教室の充実
- ・タイピングの習得 ・体験的な活動の充実

豊かな心の育成【徳】

- ・「やればできる」の成長的マインドセットの育成
- ・自他のよさを認め合う学習活動の充実（自尊感情、自己肯定感の育成）
- ・目標設定力、課題設定力の育成（夢をもち、目標をもつ）
- ・道徳授業の充実 ・保幼小連携の充実
- ・規範意識の涵養「相手を思いやる力」「正しく判断できる力」「正しく行動できる力の育成」
- ・自分から挨拶のできる子どもの育成
- ・気持ちを行動で示すことができる子どもの育成（感謝、称賛、あったか言葉）
- ・全校朝会等での積極的な表彰（努力に対する価値付け）
- ・自治的な係活動、当番活動 ・「縁の下の力持ち」的な仕事や役割を価値付ける指導

スポーツに親しむ心の育成、体力向上と健康増進【体】

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」月間（5・8・10月） ・栄養教諭を中心とした食育の充実
- ・体育授業の充実
- ・体力向上のための一校一取組、一学級一実践の実施
- ・運動習慣の確立（1日60分・5日間300分以上の運動時間の日常化）朝遊び+休み時間遊び+体育授業
- ・体育指導補助員の活用 ・オリンピック、パラリンピックレガシー教育の推進
- ・全校持久走大会 ・大田区小学生駅伝大会
- ・手洗い、うがい、手指消毒の徹底

魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】

- ・感染症対策の徹底（感染状況に適した柔軟な対応） ・校内研究、校内研修の充実
- ・ICT教育の推進（タブレット端末の活用） ・特別支援教育の充実
- ・不登校、いじめ問題への迅速、適切な対応 ・教員支援員の活用 ・食物アレルギーへの対応
- ・地域の教育資源、環境、人材を活用した教育活動の継続（未来ものづくり科の推進）
- ・講師、支援員との連携 ・働き方改革の推進（年休の積極的取得、子育て・介護世代の支援・水曜日限定の会議・打ち合わせ）

学校・家庭・地域が一体となつてともに進める教育【学校・家庭・地域】

- ・学校ホームページによる情報発信（「校長室より」「給食」は毎日更新）
- ・各種たよりによる情報発信（デジタル配信） ・行事だよりの充実
- ・地域教育連絡協議会における意見交換 ・町会との協力、連携、協働 ・地域行事への積極参加
- ・コミュニティスクールの立ち上げ（9月開始予定）
- ・夏のわくわくスクール ・図書ボランティア ・関係機関との連携強化 ・防災教育の充実
- ・PTA改革